

事業報告書

平成25年4月1日より平成26年3月31日までの事業概略を項目ごとにご報告申し上げます。

当協会の概況

平成25年度の当協会の主な事業として、育英事業、展覧会事業、パブリックアートの普及事業、国際交流事業などを推進して参りました。

育英事業として「瀧富士基金」奨学生及び「国際瀧富士美術賞」奨学生に奨学金の給費及び貸与を行いました。また展覧会事業として「交通総合文化展2013」を開催しました。

また、パブリックアート普及事業においては、松山空港ターミナルビルにステンドグラス作品の設置を初め、その他の作品制作など設置・普及に協力しました。

当期の特記事項

当期は、福島空港にパブリックアート作品が設置され、記念すべき500作品目となりました。

本年も一般財団法人日本宝くじ協会にパブリックアートの普及事業の助成申請をいたしましたところ111,510千円の助成が認められパブリックアート3作品を設置致しました。

活動状況

当年度の主な活動内容を項目ごとにご説明申し上げます。

I. 公益事業

1. 育英事業

(1) 瀧富士基金

「瀧富士基金」第47期奨学生の貸与生募集をいたしましたところ、本年は40名の応募がありました。

選考委員会を8月20日(火)に開き、厳正な審査の結果、28名の貸与生が新たに決まりました。また、貸与生のうち特に成績優秀な学生の中から貸与奨学金の全額または一部の返還を免除する給費生を11名〔全額5名・半額2名、1/3 4名〕を選びました。また、貸与奨学金が増額される特待生を7名選考しました。

(2) 国際瀧富士美術賞

もう一つの育英事業である「国際瀧富士美術賞」第34期奨学生の第一次審査会を8月21日(水)に、第二次審査会を9月25日(水)に開き、厳正な審査の結果、国内11美大13名、海外9美大9名の計22名の受賞者を選びました。また、25周年を期して制定したグランプリ(滝理事長賞)を引き続いて授与することとし、10月30日(水)に、東京會館で行われた授賞式において、特に優秀と認められた東京藝術大学の学生にグランプリ、多摩美術大学の学生を準グランプリに選出し、その栄誉を讃えました。

さらに、授賞式に引続き懇親会を開催し、国際瀧富士美術賞を授賞した国内外の学生、指導教員、大学関係者を招待し、文化、芸術交流を図りました。

2. 展覧会事業

(1) 交通総合文化展 2013

「交通総合文化展 2013」を「10月14日 鉄道の日」の関連事業として、10月18日(金)～23日(水)の6日間、JR東京駅地下「動輪の広場」特設会場で開催致しました。

「交通文化賞」の創設を記念して1954年(昭和29年)に発足した文化展は、本年で60回の歴史を刻みました。今年は、「写真」(新日本観光写真展)及び「俳句」の2部門に加え、パブリックアート普及活動特別展として、ステンドグラス・陶板レリーフやその素材の紹介にも努めました。

会期中、多くの人に観覧していただき、盛況のうちに無事に終了する事ができました。

同時に開催された日本画、洋画、書の大家、中堅作家の新作展である「溯瀧会」に、日本画家の鈴木竹伯先生(文化功労者)、洋画家の奥谷博先生(文化功労者)、書家の高木聖鶴先生(文化勲章)など有名作家の作品36点を展示しました。

また、日韓親善観光写真展を併設展示しました。

(2) 原宿ファッションジョイボード文化展

JR原宿駅道路側の大型看板16面を使って、オリンピック・パラリンピックをニッポンに！をテーマとした「原宿ファッションジョイボード文化展」を、平成25年4月1日から平成25年9月11日まで開催しました。

3. パブリックアートの普及・振興事業

当協会は永年に渡ってパブリックアート作品の制作並びに普及活動を行ってきました。本年度は、福島空港ターミナルビルに設置した 日本画家 堀文子先生原画の「ユートピア」が記念すべき 500 作品目となり、除幕式等に協会関係者も参加し、盛大に記念式典が行われました。

(1) パブリックアートの普及・振興

一般財団法人日本宝くじ協会は、公益法人等が行う公益事業への助成を平成 25 年度も実施することになり、本協会として「平成 25 年度パブリックアート普及事業」を申請しましたところ、助成が認められ、次の 3 箇所に作品を制作・設置致しました。なお、助成額は 111,510 千円です。

- ① 題 名：蜜柑、ミカン、みかん
素 材：ステンドグラス
作 家：美術家 田窪 恭治先生
寄 贈 先：松山空港ビル株式会社（第三セクター）に無償譲渡
委託契約費：37,527 千円

- ② 題 名：ユートピア
素 材：陶板レリーフ
設 置 場 所：福島空港ターミナルビル
作 家：日本画家 堀 文子先生
寄 贈 先：福島空港ビル株式会社(第三セクター)に無償譲渡
委託契約費：38,472 千円

- ③ 題 名：いのち輝く八重山（やいま）
素 材：ステンドグラス
設 置 場 所：石垣空港ターミナルビル
作 家：染色家 玉那覇 有公先生
寄 贈 先：石垣空港ターミナルビル株式会社(第三セクター)に無償譲渡
委託契約費：35,511 千円

(2)「くれあーれ にゅーす」

パブリックアートの普及を目的に、本協会とクレアーレ熱海ゆがわら工房を紹介するため「くれあーれ にゅーす」第9号を平成26年3月に発行しました。

第9号は、彫刻家 五十嵐威暢多摩美術大学学長、文化人類学者 青木 保 国立新美術館館長、医学博士 室伏きみ子お茶の水女子大学名誉教授にご出席いただき、滝 久雄理事長の司会・進行で「豊かさを育てる芸術の力 — パブリックアートの更なる可能性を目指して」をテーマとする座談会やクレアーレ作品並びにクレアーレ熱海ゆがわら工房の紹介などを掲載致しました。

第10号は、パブリックアート500作品完成記念特別企画として『2020年オリンピック・パラリンピック開催を機に「文化国家 日本」の宣言等について』をテーマに、宮田亮平東京藝術大学学長、隈 研吾東京大学大学院教授、松浦晃一郎第8代ユネスコ事務局長、加藤尚武京都大学名誉教授、石田義雄東日本旅客鉄道株式会社監査役、日本画家 堀 文子先生に語り合っていました。この企画は、菅 義偉内閣官房長官にも賛同していただき、特別参加を賜りました。

なお、第10号は7月発行予定です。

(3)その他

当協会は、パブリックアート普及及び若手芸術家の育成ために、研究資金を支援しました。

4. 国際交流事業

(1) 新日本観光写真展及び日韓親善観光写真展

この展覧会は、訪日外国人の皆様には日本の文化・芸術や観光地を紹介するため、交通総合文化展に併設、展示しました。

(2) 国際アマチュア・ペア碁選手権大会

第24回、国際アマチュア・ペア碁選手権大会は、世界21カ国・地域の代表と国内各地区(8ブロック)の代表32組64名の参加を得て11月2日(土)、3日(日)の両日、東京・飯田橋のホテルメトロポリタンエドモントで開催しました。結果は、韓国代表ペアが優勝し、中華台北代表ペアが準優勝でした。

一方、一般参加で人気を博している「荒木杯ハンデ戦」は棋力別3ブロックに分かれ、今年は138組276名が出場しました。

今回は、映画「おくりびと」の脚本を手がけた、放送作家の小山薫堂氏が、ベストドレッサー賞の審査委員長を務め、ベストドレッサー賞の上位3組と、海外特別賞1組を選びました。

なお、本協会は、日本の文化・芸術を紹介する写真パネルを会場に展示し、外国から参加された方に、日本の文化・芸術を紹介しました。

II. 収益事業

1. 環境芸術にかかわる各種コンサルティング事業

陶板レリーフ、ステンドグラスあるいは立体作品を主に駅等の公共スペースに設置するパブリックアート作品の制作に対して、各種のコンサルティングを行い収入を得ました。

2. 不動産賃貸業

当財団が保有している工房等（クレーレ熱海ゆがわら工房、信楽工房など）の施設を賃貸し、収入を得ました。

以上